



- 1) 片流れ屋根のスマートな外観。樹木が育てば、爽やかな印象の住まいになる
- 2) 建坪は40坪弱だが、吹き抜けの1・2階は全体がホールのように、お子さんたちがどこにいても声が届く
- 3) 坂田さんご一家。元気いっぱい3人兄弟
- 4) ロフトに配置したご主人の書斎。音楽を聞いたり、本を読んだり…
- 5) ロフトの書斎に上るハシゴのあるプレイルーム。階下を見下ろせる空間設計

- 6) シンボルツリーのサルスベリの木が見つめる広い広いウッドデッキで、3人のお子さんが伸び伸び遊んでいる。LDKと一体になった団らんスペース
- 7) ホワイトで統一された清潔感あふれるLDK。物や用品はできるだけ収納しているので、お子さんが走りまわられるほどの余裕のある空間に
- 8) ウッドデッキ側から、吹き抜けの階上から、あふれるほどの陽光が注ぐ。シンクに立つ奥さんから、お子さんたちの姿が広い視界で目に入る

## 広く高く明るいLDK キャビンから見上げているような 1・2階一体の開放空間

アイランドキッチンと白い壁、開放的な吹き抜け空間がある坂田邸。LDKに沿って20畳以上の広いウッドデッキが南側に続いている。これらすべてを合わせると、実に50畳を超えるスペースとなる。お子さんたちが元気に走りまわられる伸び伸びとした楽しい住まいだ。

1階と2階がつながった開放的な家にしたかったと坂田ご夫妻。キッチンやリビングから、2階へ声をかければ、お子さんがすぐに顔をのぞかせる。2階・廊下の端には、プレイルームといった雰囲気のある6畳ほどの空間がある。1階から見上げると、まるで豪華な大型ヨットの甲板でも見上げるような楽しさがある。

もう一つのポイントは、すぐれた省エネ性能である。光熱費をどれだけ抑制できるかというのが、ご夫妻の一番の関心事であった。玄関に入ると、頬にひんやりとした冷気を感じ、気温30度を超える

暑さから一気に解放された。「1階と2階が開放空間でつながった家にしたかった」と思っていましたので、冷暖房効率のよい家になければなりません。

新しい省エネシステムを導入した新居(オール電化)は、エアコン1台で全館冷暖房が可能。年間の光熱費を12カ月で割ると、ひと月16000円ほどになるはず。もうすぐ太陽光発電も導入する予定で、そうすれば光熱費はさらに低減されるという。「経済性だけでなく、一年中全館温度差がなく、室温を快適に保てるというのが、この家の大きな魅力です」と話されていたのが印象的であった。

data

- 価格◎ 本体価格 **2100万円**
- 工法◎ 木造在来工法(ウインウッド工法)
- 床面積◎ 1階……………64.58㎡
- 2階……………56.32㎡
- 延べ床面積……………120.90㎡
- 入居◎ 2011年7月
- 家族構成◎ 夫婦と子ども3人